

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	うらら		
○保護者評価実施期間	令和7年 12月22日	～	令和8年1月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数)
			13
○従業者評価実施期間	令和7年12月15日	～	令和7年12月23日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数)
			11
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもが安心感をもち通所を楽しみにしている	日々、職員間で話し合いながら活動内容を検討している。 室内・外活動の中でルールのある遊びを取り入れている。その中で、ルールを守ることなど生きていくための力を育むことを目指している。	子どもの様子を見ながらグループ編成や遊びの内容を検討する。
2	定期的に活動の様子や自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信している	定期的にホームページやSNSを活用し発信している。今年度より四季だよりを発行し始めた。日々の子ども様子は援助記録で共有している。	ホームページやSNS、四季だよりを用いて、子ども達の様子を発信し続ける。見て楽しめるよう工夫する。
3	家族に対して家族支援や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会について	今年度は西南大の倉光先生より、【行動に焦点を当てた理解と支援】をテーマに保護者向けの研修を開催した。保護者同士が顔を合わせる機会にもなった。	今後もご家族の意向を確認し、保護者が交流する場も含めて計画していく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の他の子どもと活動する機会について	個人情報の保護との兼ね合いが難しい	地域の公民館で行われている地域カフェに参加した際、地域の子ども達と共になる機会はある。その時の様子を可能な範囲でSNSを活用し、周知に努める。
2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練実施の周知方法について	年2回避難訓練を実施している。前年度は、土曜日など利用人数が少ない日に実施していたが、職員の動きの確認のためにも今年度は平日に実施した。援助記録の活動内容に記載している	活動時の様子等をSNSや四季だよりを通じて情報発信を工夫し周知に努める。
3	子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援についての周知方法	ヒヤリハット報告を毎月の会議で職員で共有している。	BUP計画・安全計画を立て、5月頃ご家族に配布する。お便りなども通じて情報発信を工夫し周知に努める。